

第 7 回 下野市男女共同参画推進委員会会議録

日 時 平成 19 年 10 月 31 日 (水) 午後 3 時 ~ 5 時
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304 会議室
出席委員 陣内雄次会長、渡辺欣宥委員、三村政子委員、黒須基允委員、森田伊知子委員、若林久代委員、上野秋江委員、楡木悦夫委員、黒須智子委員、山口容子委員、久保田国枝委員、横溝トシ子委員、郷間誠委員、田辺伸一委員、長井美枝委員、中川美恵子委員、小幡洋子委員
欠席委員 松本文男委員
出席者 篠崎第一分野担当副市長、野口総務企画部長、諏訪市民生活部長、毛塚健康福祉部長、齋藤経済建設部長、石田教育次長
事務局 (企画財政課)
篠崎課長、小口主幹兼課長補佐、長主幹、古口主査、坂本主事
傍聴人 なし

○ 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
- 4 閉会

○ 会長挨拶

前回の委員会は 8 月 20 日でしたので、約 2 ヶ月ぶりとなります。本日は、パブリックコメントの取りまとめ結果とキャッチフレーズについて議論する予定です。全体スケジュールでは、11 月に次回の委員会としてプラン案の最終確認が予定されていますが、本日まともれば、次回は必要がないかとも思います。よろしくお願いいたします。

○ 議事

会議録署名委員の指名

(陣内会長) 最初に、会議録署名委員の指名をさせていただきます。郷間委員と田辺委員をお願いします。

1) 前回会議録の確認について

(陣内会長) 前回の会議録の確認をしたいと思います。訂正等がありましたら発言を

お願いいたします。

(陣内会長) 特にならようですが、あれば後ほど発言をお願いします。

2) 下野市男女共同参画プラン(案)について

(陣内会長) 2番目の議事に移って、下野市男女共同参画プラン(案)について議論したいと思います。まず、この案に対するパブリックコメントの結果について議論し、休憩を取った後、座席を変えてキャッチフレーズを決めたいと思います。キャッチフレーズについては、10名の委員から15件の案を頂いております。では、資料1「下野市男女共同参画プラン(案)」と参考資料1「下野市男女共同参画プラン(案)に関するパブリックコメントの結果」についての説明を事務局からお願いします。

(事務局) 資料1「下野市男女共同参画プラン(案)」及び参考資料1「下野市男女共同参画プラン(案)に関するパブリックコメントの結果」について、説明致します。

下野市男女共同参画プラン(案)(資料1) 下野市男女共同参画プラン(案)に関するパブリックコメントの結果(参考資料1)について説明

- ・ 資料1は、これまでの素案に用語解説などの参考資料を加え、最終的なイメージとして提示したものです。表紙の「○○○○○」という部分には、これからご議論いただくキャッチフレーズが入る予定です。
- ・ 参考資料1では、9月に実施したパブリックコメントの結果として、意見の概要と意見に対する市の考え方をまとめてあります。パブリックコメントは、9月3日から26日まで実施し、2名の方から11件のコメントを頂きました。内容の修正についての意見は少なく、要望などが多かったのですが、庁内で検討した結果、下野市男女共同参画プラン(案)の訂正はせず、原案の通りといたしました。ご意見は、今後の施策推進に反映することとしています。
- ・ 基本目標 については、2件のご意見を頂きました。本プラン(案)の14ページに関し、「男女平等の項目で女性側だけの苦勞が強調されすぎていて、男性の抱える辛さ、大変さに焦点を当てるべき」という意見について、本プランでは、歴史的経緯を踏まえた記述としているため原案のとおりとし、施策推進の参考とすることにいたしました。「出産の役割が女性の権利として主張されている、また、育児休暇に関連した施策が必要である」というご意見に対して、このような施策は、少子化対策の一環として国での検討が必要となってくるため、原案のとおりとしています。
- ・ 基本目標 について、4件のご意見を頂きました。数値目標や具体的施策を挙げてほしいとのご意見でしたが、本プランでは、すべての項目で数値目標を設定しない方針としていること、また、事業を具体的に提示せず、業務を包含する形で掲載していることを市の考え方と

してまとめました。プランを修正せず、原案のとおりとしています。

- ・ 基本目標 について、3 件のご意見をいただきました。ドメスティック・バイオレンス(DV) についての啓発や男女共同参画に関する情報提供等についての意見がありましたが、これらの啓発・情報提供等については、今後も進めてまいります。
- ・ 第 4 章プランの推進「1 推進体制の整備」については、「担当部署の設置を望む」というご意見をいただきました。庁内では、横断的組織として男女共同参画推進本部が設置され、全庁的体制で取り組んでおりますので、ご意見は今後の参考とさせていただくことにいたしました。また、「3 プランの進行管理」で「意識調査は少なくとも隔年実施を」というご意見については、意識の変化が短期に起こることは難しいため、原案のとおり 3 年程度ごとの実施としています。

(陣内会長) では、今の説明について質問・意見があればお願いします。

(山口委員) 1 番目のコメントですが、案の 14 ページ、「男女平等の項目で女性側だけの苦勞が強調されすぎている」とあるのは同感です。逆差別などもありますし、意見を取り入れて、表現を変えた方がいいのではないかと思います。(4)で「女性(の人権を尊重し)」を「男女」に変えたらいかがでしょうか。

(渡辺委員) 私も同意見です。以前から申し上げているように、このプランでは女性の権利向上などを強調しすぎだと思います。男女がお互いに尊重できる社会を目指すということで、「女性」から「男女」へ表現を変えた方がいいと思います。

(陣内会長) 事務局としてはいかがですか。

(事務局) 参考資料 1 に市としての考え方としてまとめたとおり、歴史的経緯なども考慮いたしましたので修正せず、原案のとおりとしたいと考えています。頂いたご意見は参考として、今後の見直しなどに反映していくこととしたいと思います。

(山口委員) 14 ページの(4)の「女性(の人権を尊重し)」を「男女」に替える、あるいは「女性並びに男性」に替えるだけでもできないのでしょうか。

(渡辺委員) 私は大賛成です。男女平等ということで、そこだけでも変えた方がいいと思います。

(横溝委員) 14 ページの(4)は、メディアの中の男女同権、メディアリテラシーの問題です。水着姿とか、弁護士は男性で相談者が女性というようなメディアの中での従来の歴史的なイメージを変えていこうというものですから、「女性」のままの方がいいと思います。

(渡辺委員) 最初に申し上げたように、男らしさ、女らしさを否定するのはどうかと思います。女性の水着姿は美しさの表現だと思いますし、それを否定されて

差別であるといわれるのであれば、私個人としてはついていけません。男女平等は大賛成ですが、男らしさ、女らしさは美しいことだと思うので、横溝委員の意見には抵抗を感じます。

(久保田委員) 単純に、私も「女性」を「男女」に替えた方がいいと思います。(4)は文章の流れから考えても、その方が自然ではないでしょうか。

(森田委員) これまで男女の不平等を感じないで育ってきたものですから、男女と変えても問題はないと思います。また、パブリックコメントで出てきたということは、まっさらの状態を読んで引っかかるということですから、男女に変えた方がいいと思います。

(事務局) 文章構成として、「施策の方向 - 1 男女平等意識の確立」の「・・・また、メディアなどこれまで女性の人権の人権に対して配慮を欠けていた分野について・・・」という上段の趣旨説明を受けていますので、女性の人権に関わってくると考えます。

(郷間委員) サブタイトルというか、上段の説明に関連した部分ですので、このまま女性でよろしいと思います。

(若林委員) 私も同意見で、女性のままでいいと思います。

(久保田委員) 「女性」をはずした方がいいと思います。

(横溝委員) 「女性」をはずすと、上段からの流れと合わないと思います。14 ページの(4)はメディアの中のということなので、「女性」のままの方がいいと思います。

(山口委員) 男女差別は性差別ということで、女性差別だけでなく、逆差別、男性差別もあると思います。DV もセクハラでも男性が被害者の場合もあって、表に出てきていると思います。女性差別だけを問題にするのは、昔の話ではないでしょうか。海外先進国と比較しても、今後 8 年間という将来的なことを考えると、このプランの表現は慎重に考えた方がいいと思います。

(渡辺委員) 女性の権利向上という取り上げられ方が過激だと思います。最近、生きていくうえで男性が精神的に苦痛を感じる機会が増えていると思います。ちょっとしたことですぐにセクシャルハラスメントといわれてしまう。確かにひどい例はあるかもしれませんが、ひどい例とまがい物を区別した方がいいと思います。女性の権利向上を強調するあまり、男性が生きていくのが厳しくなっている。女性を差別しているつもりはありませんが、あまりに片方の性の権利だけを取り上げるのは、障害を生むので問題だと思います。

(横溝委員) 今は、14 ページ(4)のメディアの中のということを議論しているのではないのでしょうか。(4)の表現は「女性」のままの方がいいと思います。パブリックコメントでは、(2)(3)についてですから。

- (郷間委員) 全体の構成の流れからみると、(1) と (2) で男女平等でいこう、それを受けて (3) と (4) では、今まで配慮に欠けていた部分を変えていこうという流れになっているので、このまま女性でいいと思います。
- (陣内会長) 他によろしいですか。メディアについては、特に女性 (の人権を尊重する) となっていますが、そうではないという意見がパブリックコメントでも委員の意見としても出ているので、留意事項として、今後の見直しの際に検討に留意して欲しいということではいかがでしょうか。
- (委員全員) 結構です。
- (陣内会長) では、他にございますか。
- (若林委員) 意見番号 10 番目の「庁内推進体制の充実」ですが、私もこのコメントにあるように担当部署の早期設置を希望します。佐野市のように、男女共同参画課があると充実すると思います。
- (陣内会長) 担当部署の設置については、これまでも委員会でご意見としては出てきました。事務局からございますか。
- (篠崎副市長) 庁内推進体制については、合併して市になったことだしという思いはありますが、行政改革の推進という重要な命題も有るので、検討段階というところでもう少しお時間をいただきたいと思います。
- (陣内会長) 組織改革の中で検討いただきたいと思います。プラン案について、ご意見はいかがですか。
- (楡木委員) 前回欠席していたので、プラン (案) について細かいことですが、気がついたことを申し上げたいと思います。まず、目次ですが、第 3 章の欄だけページ数が表示されています。これには意味があるのでしょうか。次に 1 ページですが、タイトルでは「 1 プラン策定の背景と趣旨」となっているのに、内容では「(1) プラン策定の趣旨」「(2) プラン策定の背景」と順番が逆になっています。また、14 ページ (3) の「ヘルス/ライツ」が、15 ページ下段の説明では「ヘルツ/ライツ」となっています。ヘルス/ライツに修正してください。それから、17 ページの「男女共同参画 (ジェンダー・イクウォリティ) 」ですが、51 ページの用語説明では「イクォリティ」となっています。ILO の資料を見ると、平等という意味のイコールから来ているので、「イコーリティ」の方が正解だと思います。確認をお願いします。22 ページの「ワークライフバランス」ですが、53 ページの用語説明だけでなく、同じページの下段にも説明をお願いします。30 ページの「セクシュアル・ハラスメント」ですが、52 ページの用語説明では「セクシュアル」、53 ページでは「セクシャル」となっています。どちらかに統一した方がいいと思います。
- (上野委員) 32 ページ (1) の施策内容ですが、表現を工夫していただきたいと思いま

す。「高齢者の多くを女性が占め、その介護も主に女性が担っているという現状を踏まえ、……」となっていますが、「女性の割合が高い」などに修正し、また、介護者には男性もいらっしゃるの、表現を変えた方がいいと思います。

(事務局) 適切な表現を検討させていただきます。

(陣内会長) パブリックコメントについては、これでよろしいでしょうか。では、ここで 5 分休憩をしたいと思います。休憩後、キャッチコピーについて討議したいと思います。

< 休憩 >

(陣内会長) では、円座になっていただいて、キャッチフレーズ案についてご討議いただきたいと思います。参考資料 2 に、委員の皆さんからのキャッチフレーズ提案一覧があります。このプランの将来像は前回検討しており、「お互いを理解し尊重する心豊かな社会の実現をめざす下野市」に決まっています。今回はキャッチフレーズですから、皆さんに親しみやすく、少し軽い感じのものがいいと思います。また、このキャッチフレーズの下に「下野市男女共同参画プラン」というサブタイトルがつきます。では、みなさんご自由にご意見ををお願いします。

< 委員各自発表 >

- 「ひととひと」というキーワードも多いが、「しもつけ」も 12 個入っている。前か後につけざるを得ないのでは。
- 「しもつけ」は、漢字で表記するのかひらがなにするのかで異なってくる。
- 「ともに輝く」も多いので入れたい。
- №2 の案「男と女 ともに輝くしもつけ 21 プラン」がいいと思うが、21 とは何か。21 世紀なら 21 世紀とちゃんと表記したほうがいい。
- キャッチフレーズなので、短い方がインパクトがあるのでは。
- №5 と №14 の「ともに築こう」もいい。
- 「愛」とか「ハート」もいい。
- №4 の説明にある「手をつなぎ」もいい。
- 「ひととひと」は入れたい。
- 「輝く、築こう」もいい。
- 短くスパッとしたものであれば、№12 の「しもつけ ハートフルプラン」もいい。
- ハートフルは福祉計画で使っている。他に、生涯学習計画では「いきいき輝く」である。男女共同参画だから「ともに」は必要だと思う。
- 「ともに」は漢字ではなく、ひらがなのほうがいい。
- №15 の「気づいて 感じて 変わって」もいい。「輝く」も落とせない。

- №2 の「男と女」は男女どちらが先なのか。№3 のように女が先になるのか。
- №2 の「男と女 ともに輝くしもつけ 21 世紀プラン」から「プラン」を削除し、「ともに輝くしもつけ 21 世紀」にするといい。
- 男女共同参画なので、女が先だと不自然かもしれない。
- 「ひととひと」は、新しい感じがしていい。男女は古来からの言葉なので、女性を先にするなどして女性を強調しなくてもいいと思う。ひらがなで「ひととひと」の方がいい。
- やはり、「男と女」と書いて「ひととひと」と読むのがいいと思う。
- あえて女性を先にして、「女と男」としたほうが目を引くかもしれない。「あら？」と疑問が出てくるかもしれない。
- №2 の「男と女 ともに輝くしもつけ 21 世紀プラン」の「21 世紀」と「プラン」は削除していいのでは。
- 子どもから聞かれて説明できるものもいい。
- 小山市が「ハーモニープラン」、他に「トライアングルプラン」や「パーソナルプラン」などがある。それならば、№6 の「しもつけ ハーモニープラン」など、短くて柔かい感じがいい。
- 小山市は「ハーモニー おやま」だったので、重なってしまう。
- 「下野市男女共同参画プラン」に代わる一言で言えるような言葉、もしくは将来像と重ならない言葉がいい。
- 言葉というものは一人歩きするものだ。私たちは今まで議論してきたので「ハーモニープラン」とか、「バランスプラン」とか聞いてわかるが、一般の方々は、ちょっと聞いただけでは、何がなにやらわかりにくいと思う。やはり全体像が掴める、わかりやすいものがある。
- 短くても、意味や思いが込められているものもあるのでは。
- 「ハーモニー」は小山市で使っているし、「バランス」は目新しくないけれど、ワークライフバランスにつながるかもしれない。
- そうすると「シェア」がいいかもしれない。
- 事業のハーモニー・バランスから連想してシェアリングという言葉はどうか。人と分かち合うという意味がある。何処も似たようなものではつまらないと思う。
- 「ハート」は福祉というイメージが強い。ハートフルとか介護はハート、ふれあいで、子どもはハッピー、ピンク、すくすくなどである。
- 語感として、八行の言葉がいいらしい。ふれあい、ハート、ハッピーなどがある。
- №3 の「女と男 かがやきプラン」と№10 の「シェア しもつけ」をあわせて、「シェアプラン しもつけ」はどうか。一見わからなくても、簡単に説明できる。
- №10 の「シェア しもつけ」に興味を持った。「シェア」という言葉はちょっと聞き慣れない言葉なので、変わっていて返ってよいと思う。
- 「シェア」という言葉は動詞なのか。名詞のイメージが強い。

- 「シェア」と聞くと、「占有率」や「占める」というイメージが強い。
- 「ひととひと」はぜひ入れたい。
- №10の「シェア しもつけ」がいい。
- 「かがやき」という言葉は何処にもあり、よく使われている。「しもつけ シェアプラン」の方がいい。
- 活動的なイメージになるし、「シェアリング（わかちあい）しもつけ」はどうか。
- おしゃれで他にない感じがするので「シェアリング（わかちあい）しもつけ」はいい。
- 「かがやき」はいいが、どこにでもある感じもする。
- 「女と男 かがやきプラン」の方が、広い年齢層には受け入れられやすい気もする。
- その2つを合体して、「女と男 かがやき シェアリング しもつけ」がいい。比較的簡単な言葉でもある。
- 「シェアリング」は「わかちあい」という意味なので、「シェアリング（わかちあい）」にした方がいい。
- 「シェア」という言葉はわかりづらく、経済用語のイメージが強い。
- 経済用語のイメージが強いので、「シェアリング（わかちあい）」のようにかっこづけが必要なのでは。
- 合体した「女と男 かがやき シェアリング しもつけ」から女と男という言葉を取って、「かがやき シェアリングプラン」はどうか。言葉の感じで、ぱっと耳に入る言葉になる。
- 新しい市になって新しいプランなので、新しい言葉の方がいい。「シェアリング」がいい。
- 「シェアリング」の意味を取り違えなければいい。
- 「シェアリング」という言葉を使いたい。
- 「シェアリング（わかちあい）しもつけ」は、新市になったことだし、新しい方向性を示すということでよい。女と男はどうするか。
- 「シェアリング」のあとに「（わかちあい）」があった方がいい。

（陣内会長） では、キャッチフレーズは「シェアリング（わかちあい）しもつけ」ということでよろしいですか。

（各委員） 異議なし。

（陣内会長） 後は、事務局と私で細かい表現について相談させていただくということでよろしいですか。

（事務局） では、会長と相談して、最終決定させていただきます。

（各委員） 異議なし。

3）その他

（陣内会長） では、事務局からお願いします。

- (事務局) 今回で平成 19 年度の委員会は終了となります。平成 20 年度は進行管理が中心となりますので、次回委員会は来年の夏以降となる予定です。今回の会議録については、まとめたものを委員の皆さん全員に送付し、修正などがあれば事務局に連絡いただき、修正させていただきます。その後、署名委員に修正箇所を確認していただき、最終的に会長に確認していただいて、確定いたします。
- 本日の委員会でプランが確定いたしました。これまでご審議いただきありがとうございました。
- (篠崎副市長) ありがとうございました。プランが完成したことを改めて御礼申し上げます。頂いたご意見も記録してありますので、今後、反映していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

以上